

Gesuido Joshi Journal GJ Journal

下水道分野で働く女性のマガジン



東北
特集

地域別特集

東北震災の復興状況をレポート(宮城現場編)

まだ寒さが残る東北からレポートします。

3.11東日本大震災から8年目となっています。仙台市内では震災のイメージは全くなくなりましたが、沿岸部に行ってみると防潮堤、河川堤防などが施工中で市内とは一変した状況となっています。

今回は、宮城県内の石巻市、東松島市、松島町での雨水浸水対策復興事業の状況を東北GJの視点から発信します。

Cover Photo 今月の表紙

東北

①管渠の更生工法

管渠とは、給水や排水を目的として作られる水路の総称のことを言います(下水道では、原則として暗渠《地下に設けた水路》としています)。

老朽化や震災により下水管渠が破損した際は、直ちに修復する必要がありますが、道路を掘らないで下水管渠を直す工法を、「更生工法」といいます。

こちらの工法は、更生工法の1つである「バルテム・フローリング工法」。既設の下水管渠内で組み立てた金属部材と表面部材を組み付け、これらをモルタル(セメントと水を練り混ぜて作る建築材料)で充填することで管渠を直しています。



②移動式クレーン

建設現場で欠かせないのが、重量物や大型物を効率よく運搬するための機械、移動式クレーン。下水道工事現場でも移動式クレーンは必要不可欠です(ちなみに、5t以上のクレーン及び移動式クレーンを運転する際には運転士免許が必要らしいです)。

下水道の工事現場では、土砂の崩落を防ぐために土を留める「土留め(どどめ)」が必要です。土留めには凹凸状に成形加工された鋼板の「鋼矢板(こうやいた)」が使用されますが、鋼矢板の現場内運搬にはこのような移動式クレーンを使用します。

③ポンプ

ポンプは、水を低いところから高いところに移送するための機械。下水道のポンプ場には、雨水ポンプ場、汚水ポンプ場がありますが、こちらのポンプは雨水を移送するため屋内に設置されたポンプです。手前の小さなポンプが電気で稼働し、奥の大きなポンプは電気が止まっても稼働できるように重油を燃料とするディーゼルエンジンで動きます。

④屋外用ポンプと配管

こちらは屋外用のポンプと配管です。仮設の配管だそうです。

⑤電気室

ここは、ポンプ場のポンプや各種機器に電力と操作する信号を送るための装置が置かれた部屋です。

CONTENTS

02 | 今月の表紙

03 | 下水道女子が伝える下水道の魅力 私の下水道 ～東北GJ編～

08 | 【地域別特集】 東北震災の復興状況をレポート(宮城現場編)

11 | 【連載】 地下カン口を流れるよもやま話 GJ Photo Snap

12 | 【連載】 GKP HOTNEWS

13 | 【連載】 GJ Column 見つけちゃった!下水道あんなニュースこんなニュース

14 | 【連載】 GJのつぶやき 編集後記 次号予告

私の下水道 My Gesuido

水ing AM 株式会社
東北支店 東北RSC部

木村 玲於奈 (写真左) 渡邊 玲美 (写真右)

【仕事の紹介】 機械設備点検などの機械作業を担当しています。(渡邊)
水質分析、水処理管理、電気設備点検などを担当しています。(木村)

【ひとこと】 二人とも東北支店初の下水処理施設配属女性社員として働き始め、3年目を迎えました。当社に下水道に関わる女性社員が増えています。



自己紹介

平成28年4月、水ingに入社しました。当初は日常点検などがメイン担当でしたが、元々機械作業に興味があり、今は機械班として業務に従事しています。パワーでは男性に敵いませんが、繊細なサポートや気配りを心掛け、頑張っています。(渡邊)

私も渡邊さんと同期入社です。工業高校の電気科を卒業したこともあって、電気設備業務を担当していましたが、今は主に水質分析や水処理管理の業務に関わっています。(木村)

広瀬川について

広瀬川は、芋煮会やカヌーなどのレジャーも楽しめるほか、仙台七夕祭や広瀬川灯ろう流しなど祭りの会場にもなっており、仙台市のシンボルとして市民に広く親しまれています。ヒット曲となった『青葉城恋唄』でも有名で、中流域は都市部の西縁から南縁にかけて流れており、両岸が崖になっている箇所が見られるなど、周辺にはたくさんの自然が残されています。

仙台市では、鮎が生息するほど良好な広瀬川的环境を守るため、放流水の排水基準を「広瀬川の清流を守る条例」によりBOD3mg/ℓ・SS5mg/ℓと厳しい基準を設けています。私たちが勤務する広瀬川浄化センターでは、放流水の排出基準をしっかり守るため、二段式嫌気・好気活性汚泥法に加え、砂ろ過処理やオゾン消毒を採用、排出基準をクリアし、環境保全に貢献しています。



職場は明るく、仕事もスムーズ

今回寄稿するにあたり、職場の男性陣に女性社員が加わって変わったことを伺ってみました。

一番多かったのは「職場が明るくなった」という意見でした。

私たちが入社する以前は、あまり会話の無かった休憩時間に笑いが生まれたそうです。コミュニケーションが増えたことで、仕事も更にスムーズになったとか。現在の明るい雰囲気からは信じられないような意見が出て驚きました。気付かないうちに職場の雰囲気づくりに貢献できていたようで、とても嬉しく思います。

その他にも、お客さまや見学者の対応などにも携わっていますが、女性陣は気配りが細やかで、会社のイメージアップに繋がる、との意見も頂きました。力仕事など、男性陣には負けてしまう面も多々ありますが、その分女性ならではの良さを活かして貢献していきたいと思います。

最近当社では、続々と女性社員が入社し、まさにGJが増えています。“水を守る”心構えでは、男性陣に負けないGJでありたいですね。



定義山(じょうぎさん)

縁結び・子宝の定義如来が祀られる定義山は観光地として有名です。

名物の「定義三角あぶらあげ」は絶品で、お店で揚げたてを食べるのが人気です。定義山に立ち寄った際は、是非ご賞味あれ♪





宮城県
中南部下水道事務所

齋藤 友望

【仕事の紹介】 下水道に関わる会計事務、庶務関係事務等

【ひとこと】 GJ2年目の事務職員です。仙台・宮城観光PR担当課長「むすび丸」のマンホールコースターと撮影しました。



自己紹介

私は宮城県の事務職員として働いています。昨年度から当事務所に異動、GJの皆さんの仲間入りをして2年目となります。

GJになったからには下水道に関することに取り組もうと話題のマンホールカードを集めています。また、下水道コーナーを設け、集めてきたマンホールカードなどを展示することで、一人でも多くの方に下水道に興味を持ってもらい、話題に上げてもらえたらいいなと思っています。

宮城県中南部下水道事務所について

宮城県の流域下水道は、7流域で事業を行っています。このうち当事務所は4流域を所管しています。

平成30年4月時点では、9市11町1村で事業を実施し、下水処理を行っています。所管区域内の下水道処理人口は、4流域合計で72.9万人となっており、県内人口231万人の30.5%を占め、普及率は86.5%となっています。

流域の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的として、下水道の普及拡大と水質保全を担っています。



▲仙塩浄化センター
5階の展望室から処理場のしくみを見ることができます。

下水道ふれあいフェア

暮らしを支える下水道の仕組みを楽しく学ぶことができるイベント、「下水道ふれあいフェア」を毎年開催しています。

毎日利用している下水道とは？下水処理場ってなに？そんな下水道の不思議や疑問を楽しく学ぶことができるため、小さなお子さんから大人の方にまで大好評のイベントです。

昨年度は「～下水道を知ろう～下水道クイズラリー」、「～なるほど！ザ・下水道～浄化センター探検ツアー」をはじめ、下水道マンホール写真展、顕微鏡で微生物観察などの様々なイベントを開催しました。普段入れない施設を見学したり、クイズラリーに参加することで、下水道の仕組みや目的をより多くの方々に楽しみながら理解していただくことができました。

「下水道ふれあいフェア」は今年も開催予定です。

下水道に興味のある方はぜひお越しください。



わが町自慢

宮城県

宮城県では日本三景の一つ「松島」を楽しむことができます。

県立自然公園松島で海岸と福浦島を結ぶ、長さ252mの「福浦橋」は素敵な出会いが訪れる「出会い橋」とも呼ばれているそうです。

付近にはご当地グルメを提供するお店もあります。景色を楽しみながら、宮城県の美味しい食べ物を味わってみてはいかがでしょうか？



私の下水道 My Gesuido

株式会社アイ・ケー・エス
施設管理部 第二課 涌谷事業所

大森 夕紀

【仕事の紹介】 下水処理場の維持管理業務を行っています。
【ひとこと】 仕事が終わったらスイマー姉妹の送り迎えの日々を送っています。
マイカーの走行距離がハンパない!! (笑)



GJを極めろ!

入社して最初は水質分析業務からスタートしました。下水道とは何なのか?何が流れてくるものなのか?全く知らず、トイレの水まで流れてくることを知ってとても驚きました。

私はスポーツが好きな体育会系で、車好きもあり、入社当初から機械関係に興味がありました。入社から1年8ヶ月後、晴れて希望していた電気・機械担当となり、オイル交換等の機器点検や脱水作業など覚えることがたくさんあって、毎日とても楽しく勉強できました。そう思えたのも、女性でもしっかりと教えてくれた先輩方のおかげです。しかし残念ながら、私のような業務を希望する女性はその後いません。GJ大募集中です!!

涌谷浄化センターへ

平成18年4月から、涌谷浄化センターへ配属となりました。常駐2名という小規模施設なのでいろいろと大変な面もありますが、町の担当者様と相談しながらの業務も大変勉強になります。



涌谷浄化センター

涌谷浄化センターでは、小学校の夏休み期間中「夏休み特別企画!涌谷浄化センターを見に来ませんか?涌谷浄化センター見学会」を行っています。場内の見学だけでなく、実験や微生

物の検鏡も行い、汚水がきれいになる仕組みを知ってもらう企画です。

「大きな生ゴミは微生物も食べられない」「下水道へ水に溶けないティッシュや布などを流すと、水を汲み上げるポンプに詰まってしまう」「ポンプが詰まると下水を汲み上げることができないので、マンホールからあふれる」...などと説明すると、子供たちはとても真剣に聞いてくれていました。



昨年から管理棟の花壇を畑にし、ミニトマトやきゅうりなどを植えました。見学会に来た子供たちに、食と水の循環について伝えられる良い教材となりました。



やはりGJ!マンホールに注目♪

行く先々でマンホールのデザインを見てしまいます。北海道の実家へ帰省の際も、気に入ったデザインの蓋を見つけると撮影してしまいます(笑)

涌谷町では平成28年12月からマンホールカードを発行、配布しています。宮城県で第一号のマンホールカードです!



マンホールカード(左表、右裏)

わが社自慢 流域下水道まつり イベントでの連携力

毎年10月のはじめに、宮城県内の流域下水道施設の敷地において「流域下水道まつり」を官民連携で開催しています。このイベントには多くの県民の方が来場し、最高2,200名を超えるまでに成長しました。

社員は「下水道のPR」と「地域交流」とをキーワードに、4月ごろから仕事の合間を縫って準備を重ねます。イベント当日は、ほとんどの社員が所属部門の違いによらずに応援に駆け付け、一体となってまつりを盛り上げます。

この社員間の連携の強さが私たちの誇りです。イベントの工夫、試行錯誤、課題解決を連携力で乗り切ったとき、充実感はより強いものとなって仕事のモチベーションアップにも繋がっています。



にぎわうアトラクションコーナー



社員によるステージイベント



仙台市下水道マスコットキャラクター
かんたくん

宮城県仙台市
建設局下水道事業部下水道調整課

熊谷 菜那

【仕事の紹介】 管路施設の維持管理、老朽対策の調査。私道下水道引取りの申請受付を行っています。

【ひとこと】 外国のマンホールに興味があります(*^^*)♪
今年はシンガポールのマンホールを観てきます☆



仙台市の下水道について

本市の下水道は、明治32年に東京、大阪に次いで全国で3番目に工事に着手し、今年で119年となります。

高度経済成長期に大量に建設した管路が、近い将来、一挙に耐用年数を迎えることが見込まれており、効率的かつ効果的に維持管理をすることが本市の課題となっております。

また、私道に敷設されている個人所有の下水道管も同様に老朽化が進んでいます。

今後、使用者の高齢化などにより、適切な管理が行き届かず、管路の詰まりや破損等で機能維持ができなくなることが懸念されています。



撮影：白汚 零

▲土木遺産認定された
煉瓦下水道

下水道管を引き取ります！

本市では、市民の皆様が将来も安心して下水道を使い続けて頂くため、私道管路についても適切に維持管理を行うべく、私道に敷設されている個人所有の下水道管の引取りを行っています。昭和45年に下水道の普及を目指し、一定の条件を満たす私道に対し公共下水道の設置を行ってきましたが、制度制定当初の設置条件である「使用家屋が20戸以上あること」を、時代とともに緩和し、現在では「使用家屋2戸以上あること」を条件としています。よって、当時は使用家屋20戸以上なかったため、自ら管を敷設し、今でも維持管理している不公平な状況を改善するため、平成10年に私道共同排水設備引取り制度を創設しました。

所有者からの申請に基づき、共同排水設備全体が私道のみを設置されていること、共同排水設備が適正に維持管理されており正常な機能を保持していることなど一定の条件を満たす場合には、市で引き取り、維持管理を行っています。



▲現地調査の様子。
蓋が開かず苦戦すること…

申請受付後は、現地調査を行

い、申請条件を満たしているか、破損がないかの確認を行い、引取りの可否を判断します。引取りが可能であれば、土地所有者の方から承諾書を提出して頂き次第、市で管理しています。

ベテランGJになりたい♡

私は昨年、仙台市役所へ入庁し、GJの仲間入りをしました。初めて行った現場は、私道共同排水設備引取り申請の現地調査でした。下水道は、汚い仕事だと覚悟はしていましたが、実際にマンホールや樹の蓋を開けたとき、う〇ちがあり…衝撃を受けました!入庁当初は、う〇ちばかり見る現場でいつか下水道の仕事が嫌になってしまうのではないかと不安になりましたが、今はもう慣れちゃいました♪下水道愛の強い職場の皆さんのご指導のおかげで下水道が好きになり、遠出した時には、その土地の下水道に目を向けるようになりました。

今の目標は、仙台市役所ベテランGJになることです。本市では、下水道に詳しいベテランの男性職員は在籍していますが、女性職員はいません。将来、「仙台市役所GJ」と言えば熊谷!と言って頂けるよう、日々精進していきたいです。

そして、仙台市下水道の仕事に就きたいと言って頂ける女性が現れたら良いなと思っています。



▲楽天イーグルスのデザイン
マンホール

わが町自慢

仙台国際ハーフマラソン大会



毎年5月に仙台国際ハーフマラソン大会が開催され、新緑の「杜の都」を1万人のランナーが駆け抜けます。コースの途中では、「すずめ踊り」が披露され、大会の会場隣では、牛タンやすんだ餅など仙台名物が振る舞われ、大会を通して仙台を満喫することが出来ます。

是非、ランナーの方は仙台国際ハーフマラソン大会へ参加してみたいいかがでしょうか?



▲仙台市下水道マスコットキャラクターの
かんたくんTシャツを着て走りました!

私の下水道 My Gesuido

岩手県花巻市
下水道課

小野寺 尚子 (写真左) 阿部 ゆうみ (写真右)

【仕事の紹介】 公共下水道工事の設計・積算～監督業務を行っています。(小野寺)
経営管理係として各種統計調査、補助金、起債などを担当しています。(阿部)

【ひとこと】 ようやく直属の後輩ができて、今年は一層やる気出てます。(小野寺)
4年目にして係内での担当が変わり、慌ただしい日々です。(阿部)



花巻市について

花巻市は、平成の大合併により1市3町が合併したまちで、岩手県のほぼ中央に位置しています。総面積は908.39平方キロメートル、西に奥羽山脈、東には北上高地の山並みが連なる肥沃な北上平野に位置し、季節ごとに変化に富んだ風景が広がります。

県内唯一の空港があり、温泉が多く、岩手観光の拠点として便利なおとこです。また、南部杜氏の発祥の地でもあり、県内屈指のワイナリーもあり、お酒好きな方にも魅力のあるまちです。

花巻市ゆかりの偉人として特に有名なのは宮沢賢治さんでしょうか。市内には童話をモチーフとしたモニュメントが点在し、市民や全国から訪れるファンを癒しています。



仕事の紹介(小野寺)

道路課から下水道課に異動になり、今年で4年目になります。当市では平成32年度での下水道事業の概成を計画しており、それに向け下水道本管整備の工事積算・監督業務を主に行っています。

整備事業もそろそろ終わりが見えてきたこともあり、最盛期は8名、5年程前には5名いた係員も、現在は再雇用の方を含めて4名。どんどん人員が削減されているのが悲しいところです…。

下水道の複雑さと重要性(阿部)

3年前に事務職として入庁し、初めて配属になったのが下水道課でした。それまでは下水道を当たり前のように使用しながらも、その仕組みや料金のことへの関心は全くと言っていいほど無

かったので、何もかも初めて知ることばかりでした。下水道の仕事始めてまず驚いたのが、一口に污水处理と言っても、様々な種類があるということです。当市では、公共下水道、農業集落排水、浄化槽、コミュニティプラントなどにより污水处理を行っており、初めはそれを理解するだけでも大変でした。さらに、その種類ごとに会計の処理も異なるため会計事務の複雑さにも驚き…いまだに難しいなあと思いながら日々の業務にあたっております。

また、下水道の仕事が長くなるにつれ実感するのは、下水道事業の重要性と、それに対してあまり世間には下水道のことって知られていない…というギャップです。もちろん、この仕事に就く前は自分もその一人だった訳ですが。最近ではマンホールカードなどのブームによりテレビや雑誌等で取り上げられることも多くなっていますが、こんなにも生活に密着しているものなのだから、下水道の果たしている役割、必要性、それにかかる費用のことなどがもっと知られてもいいのではと思います。そのために、積極的にPR活動に取り組んでいかなければならないんですね。

▶花巻市のマンホールカード好評配布中です！
2016年12月より、県内初のマンホールカードとして発行されました。



わが町自慢

マルカンビル大食堂(小野寺)

花巻市の名物のひとつが、高さ25cmにもなるソフトクリーム！これはマルカンの大食堂で食べられるもので、40年以上前から愛され続けています。

しかし実は2016年6月、建物の老朽化などを理由に惜しまれつつ閉店してしまっただけです。昭和の雰囲気を残した「デパートの大食堂」の閉店は全国ニュースでも報じられました。

閉店が決定してすぐ、地元の高校生や企業が立ち上がりました。クラウドファンディング等によって食堂再開にかかる費用を集め、翌年2月、デパートの大食堂は「マルカンビル大食堂」として見事復活したのです！

昭和の雰囲気を残す大食堂にぜひ一度いらしててください。



東北オリジナル特集記事

東北震災の復興状況をレポート

(宮城現場編)

東北 特集

まだ寒さが残る東北からレポートします。

3.11東日本大震災から8年目となっています。仙台市内では震災のイメージは全くなりませんが、沿岸部に行ってみると防潮堤、河川堤防などが施工中で市内とは一変した状況となっています。

今回は、宮城県内の石巻市、東松島市、松島町での雨水浸水対策復興事業の状況を東北GJの視点から発信します。

今回のリポーター

今回のリポーターの4名のGJと、GD(下水道男子)のW運転手。
GDのW運転手が、4名のGJをご紹介します！



W運転手

所属: JS東北総合事務所
現在の担当: 施工管理全般

所長にわけもわからず巻き込まれて運転手となったWです。
女性を乗せての運転のため、
やさしい速度・ブレーキに心がけて運転しました。



加藤 桂子氏

所属: 株式会社NJS
現在の担当: 事務全般

日課が般若心経を読むこと、趣味が仏像鑑賞・神社仏閣巡りでマイブームがロックフェスと歴史ある趣味と新しい趣味を持つ桂子さん。
また、友人との旅行は全て自身でコーディネートするなど頼れる姉御肌なところも。
常にコミュニケーションをとることを仕事の目標にしている桂子さんが工事管理を担当すれば女性視点と温故知新から革新的、綿密且つスムーズな施工管理をされるのではと期待しています。



児玉 ひと美氏

所属: 佐藤工業株式会社
現在の担当: シールドトンネル工事の
施工管理(工事主任)

趣味は生け花、特技は折り紙と和室がとてもしっくり合います。しかも生け花は専門教授(教室を運営して生け花を教えることができる)を目標にされています。
現場事務所で生け花と折り紙が飾ってあると打ち合わせをする際も普段と違った雰囲気が出そうです。
女性視点で現場にあるというものはありますか?とお聞きしたら水道が遠い場所ならウェットティッシュがあるといいなと教えてもらえました。工事を監督される皆様におかれましては現場事務所にウェットティッシュを常備していると現場の女子力が上がりますよ!



小川 瑛子氏

所属: 佐藤工業株式会社
現在の担当: シールドトンネル工事の
施工管理(工事係)

児玉さんの後輩です。趣味は読書と散歩、特技は学生時代6年間されていたトランペットを吹くことのこと。
趣味の散歩がてらに海に向かってトランペットを演奏されていたらとても絵になりますね。
マイブームの500円玉貯金は、自分で頑張ったときや良い事が起こったときに、「この調子が長く続くように」「次も頑張れるように」と願ってお賽銭を入れる様な感覚でされています。使い道を考える時間も楽しいとのこと、貯めたお金を何に使われるのかとても気になります。



加藤 由子氏

所属: 株式会社日新技術コンサルタント
現在の担当: 営業及び設計補助

仕事の目標は、信頼される営業、下水道ストックマネジメント計画の理解と、とても誠実な由子さん。一方、仕事以外の目標は、ふわふわのスフレパンケーキの成功やストレッチ体操と、重大な曲面にも柔軟な対応をしていただけそうな印象。
趣味は水泳と温泉巡りと水に関わることで、雨水や汚水についても普段から興味を持って接して頂いているはず。
毎朝明るく気さくな別所哲也さんのラジオを聴きながら通勤&今日の運勢チェックが日課とのこと。

石巻市

宮城県東部に位置する県内第二の人口を擁する市、石巻市。漁場に近い石巻市は、全国でも有数の水産都市になっています。

石巻市流留第一排水ポンプ場(リポーター 児玉 ひと美氏)

石巻市流留第一排水ポンプ場は、震災により広域的大規模な地盤沈下が発生し、雨水の自然流下による排水が困難となっている状況を改善するための雨水ポンプ場で、計画排水量は3.09m³/日です。なお、市内に大小11ヶ所のポンプ場が建設されます。



訪問した日はあいにくの雨模様。石巻市内の現場見学のときは傘を差しながら行われました。市内では雨が降ると水溜りが多く出来てしまうため、それらを解消するための施設であるポンプ場の完成が望まれています。(小川氏)



現場の地質は礫層で、民家と近接しているため、低振動・低騒音工法を採用されています。施工は先端地盤を削孔すると同時に鋼製の板を圧入するため、効率も施工精度も良いというお話でした。今後の工事の要になる土留工事。雨の中でも皆、集中して作業しておられました。



奥に見える山からの雨水は2,000mmの仮設排水管で集められ、仮設の大型雨水枡に貯めたあと、ポンプ4台で排水しているということでした。台風の際はポンプ全台を稼働させて、浸水を防いだということでした。

おまけリポート

リポーター: 児玉氏



躯体構築の際、土砂の崩壊を防ぐための土留作業を見学しました。地中に打ち込む鋼製の板の長さは17mで80t吊のクレーン車を使用し吊り込みを行っておりました。進捗は60%程度でしたが、海風の影響により作業中止となる日も多かったということです。



石巻市は日本有数の大漁港です。いしのみき元気市場は昨年オープンしたばかりの施設です。1Fは地元で獲れたお魚や特産品の販売所、2Fはフードコートとなっております。こちらの写真は鮮魚コーナーのもので、新鮮なお魚がズラッと並んでおりました。



石巻市内で石巻市出身の漫画家・石ノ森章太郎氏の漫画のキャラクター達が描かれた電車が通過していました。遠くから見てもキャラクターの衣装の赤色がとても映えています。(小川氏)



石巻市には金華山という島があります。ここで捕れる鯖の中でも基準をクリアした大型の鯖は「金華さば」と呼ばれ「幻のさば」として全国に流通しております。この缶詰は金華さばを水煮に加工したものです。私も購入しましたがとっても美味しかったです。



昼食は2Fのフードコートでいただきました。私は穴子丼を注文しましたが穴子の天ぷらの大きさにビックリ!私の顔より大きい穴子の天ぷらでした。まさにインスタ映えの一品でした。加藤さん(2人)が注文した海鮮丼も新鮮でとても美味しかったということでした。

東松島市

宮城県中部、仙台湾沿岸に位置する市、東松島市。市内には航空自衛隊松島基地が置かれており、ブルーインパルスが街のシンボルになっています。

東松島市渋抜ポンプ場(リポーター 小川 瑛子氏)

東松島市渋抜ポンプ場では水路を仮締切して工事していましたが、昨年の台風で仮設ポンプだけでは能力不足となり、急遽仮締切を開放して難を逃れるなど、雨には苦しめられています。



田圃の農道を走っていると突然現れるのが、東松島市渋抜ポンプ場です。一見すると二階建ての大きい家宅の様ですが、中は立派なポンプ場となっております。こちらは景観条例地区外のため、外壁色もオフホワイト系です。



こちらは電気室となっております。ここでポンプ場の電気系統を操作し、大雨等による川の氾濫といった自然災害に対応する事が出来ます。私の後姿はどれでしょうか?



ここがポンプ室の雨水ポンプになります。雨水ポンプはNo.1~4まであり、No.1、No.2の雨水ポンプに比べ、No.3、No.4の雨水ポンプが非常に大きいです。

野蒜第2ポンプ場(リポーター 加藤 桂子氏)

東松島市野蒜第2ポンプ場は東名運河に隣接しており、周りは震災後に建設された新しい住宅が建ち始めています。一見してポンプ場とは思えないタイル貼りの外観から、豪邸という雰囲気さえ醸し出し、住宅地にすっかり馴染んでいます。



東松島市には景観条例があり、外壁の色もポンプ場の建屋の高さも制限されており、水中ポンプを採用することで建屋の高さを下げ、条件をクリア! (外壁のタイルは、職人さんが一枚一枚貼っていました。気の遠くなるような作業…。感動しました!!)。

この現場は近隣住民の不便な日々を一日でも早く改善するため、屋根に「デッキプレート工法」を採用し工期短縮を図っています。また、職人の方々の作業環境向上を目的に、通常より足場の高さを高く取り、幅も広く設置しており、とても優しさを感じる現場で、今までの現場の概念がすっかり変わりました。



おまけリポート



東松島市には航空自衛隊松島基地があり、ブルーインパルスは東松島市のシンボルとなっています。震災時は松島基地が水没し、福岡県芦屋基地へ一時移転を余儀なくされていたブルーインパルスですが、今は松島基地に戻り震災前と同様、飛行訓練を行っています。現場上空は飛行ルートになっており、勇士を見る事が出来ます。

ちょうど現場を訪れた時もブルーインパルスが! ブルーインパルスの存在は、地域の方々の大きな力になっていることでしょう。

松島町

宮城県中部に位置する町、松島町。日本三景のひとつ「松島」の観光拠点として広く知られています。

松島普賢堂ポンプ場(リポーター 加藤 由子氏)

松島普賢堂ポンプ場は、ホテルに隣接して工事しているため、ホテルの支配人と毎週打合せを行い、ホテル利用客が快適に過ごせるように工事を進めています。



仮設ポンプ配管



樹脂板の設置状況



仮囲いパネル

稼働中の雨水ポンプ場(S50.3運用開始)改修の為、屋外に仮設された10台のポンプと配管です。年季が入っていますが、本工事に準備され、昨年の台風時には6台稼働し、松島町を浸水から守る重要な役割を果たしていたそうです。宿泊施設の敷地内(駐車場)にある為、撤去も大変そうです。

【設計談：仮設配管のため塗装してません。新品です。】

写真は松島センチュリーホテルの地下に埋設されている放流渠(H1350×W750)を更生するために、樹脂製の板を1枚ずつ取り付けて、管を甕らしています。高圧洗浄から検測まで全て管内に作業員が入り施工しています。地上から見えない狭い所で作業する方達の足腰が心配です。

安全確認・健康管理はとても大切と改めて認識しました。

仮囲いは、観光地松島の景観に配慮されたデザインで、ずっと眺めていたくなりました。

今年は「国宝瑞巖寺」の大修理事業と震災被害を受けた参道の復旧工事が終了し、落慶記念として様々な特典(御朱印や絵葉書等)があるほか、色々な楽しみ方ができるとても魅力ある町ですので、訪れた事がある方もない方も、どうぞリフレッシュにいらしてください。

現場代理人

レポートにあたり、ご協力いただきました現場代理人の皆様。
ご協力ありがとうございました！！



石巻市流留
前田 博司氏
所属：大豊・佐田JV



東松島市渋抜
松永 拓也氏
所属：株式会社富士工



東松島市野蒜
光岡 昭彦氏
所属：飛鳥建設株式会社



松島町普賢堂
福村 修氏
所属：大豊建設株式会社

今回訪れた場所



今回訪れた宮城県石巻市、東松島市、松島町は、いずれも太平洋沿岸部に位置しています。

2011年3月11日14時46分、三陸沖を震源としたマグニチュード9.0の大地震が日本を襲いました。そして、この大地震は未曾有の津波を引き起こし、東北の太平洋沿岸部は甚大な被害を及ぼしました。

宮城県沿岸部の被災地では、現在でも復興に向けた工事が着々とおこなわれています。



かつて松尾芭蕉も訪れたことがあるという日和山は、石巻市内中心部の旧北上川河口に位置する丘陵地であり、眼下に流れる旧北上川の河口からは太平洋が広がり、晴れた日には遠く松島や蔵王の山々が見渡せます。

未曾有の大震災、東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市。市中心部の高台を除くほぼ全域が津波に襲われ、このエリアだけで2,000名を超える尊い命が失われましたが、日和山に避難したことで津波から難を逃れた方も多くいらっしゃったようです。

未曾有の大震災から8年。ここ日和山を登ると、復興が進んでいる石巻市が一望できます。

下水道への期待

地下カン口を流れる

その十四

地下カンロさんが管理人を務めるブログ『YOUNG 下水道season2』に寄せられたコンテンツの中から、GJ Journal事務局がおススメの記事をご紹介します。

僕は北海道育ちで、食へ物は結構美味しい
 と思っていますが、食へ物に關しては福岡市も
 素晴らしい、食文化がありますよね。何度か
 行ったことがあります、が、まず海の幸が豊富
 で何でも美味しいです、とんこつラーメンな
 んか何杯も食へられそうなくらい美味しいで
 すよね。魚もラーメンも美味しいのは北海道
 も同じですが、どちらも本当に美味しいと思
 います。

でも福岡の名物である食文化と言えばやっぱり屋台ですよね。おでんでもラーメンでも美味しくて安いお店がたくさん並んでいます。ただ、下水道関係者の僕としては、やっぱり水回りを屋台ではどうしているのか気になるますよね。ラーメンをゆでるお湯にしろ、どんぶりを使った排水にしろ、屋台でどのようにして処理しているのか気になりますが、先日、専用の水道と下水マスが路上に設置してあると知って、つかえていたものが取れましたね。



市全体として、路上の食文化である屋台を
残していこうとした結果ですよね。素晴ら
しいと思いました。こういう下水道とまちづく
り部局の連携が、全国でもっと進めばいいな
と思います。

地下カンロさんの仲間
幹太さん



Profile

下水道と競馬とゲームを愛する風来坊(♂)。ブログ「YOUNG 下水道season2」に、定期的にコンテンツを更新中。下水道のトピックのみならず、あらゆるジャンルのよちやま話を掲載している。



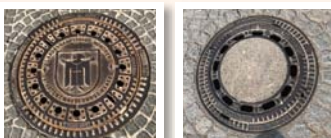
ドイツの街並みとマンホール



▲ヨーロッパでは、マンホールふたが空いている状態で放置？されていることが多いですね。よく見るとステップまで見えています。落ちないようにしないと…



▲街中で見つけたかわいい
イノシシの銅像。どことなく
セクシーなたたずまい。



◀ 左のマンホール蓋はミュンヘンの市章を象ったデザイン。修道僧がモデルになっているようです。右の蓋は大きく穴が開いているけど、下に流れてるのは汚水じゃないよね？臭くないよね？と疑いたくなりますね。

GJが街で気になったことや話題のモノを写真で紹介します。
今回はドイツ・ミュンヘンからの報告です。

おしゃれ～なトイレ表示



◀ トイレ表示の3シリーズです。日本でも着物 came 男性と女性の影がトイレ表示に使われているお店もありますが、ドイツでは民族衣装 came 男女のシルエツが案内されてくれます。男性の方はどこかマッチョに見えるのは私だけ？ 笑
一番右の表示もシンプルで可愛らしい。
上の文字は「WC」を崩した文字でしょうか。

いよいよ下水道展!



◀下水道展に先駆け、北九州市内は下水道事業100年記念として、銀河鉄道999のマンホールが小倉駅周辺と北九州空港周辺に設置されています。ぜひ探してみてください!

GKP HOTNEWS

GKP

下水道広報プラットフォーム

お知らせ

GKPホームページがリニューアルします！ ～2018年7月公開予定～

下水道広報プラットフォーム(GKP)は、このたび公式サイト
の全面リニューアルを実施します。

今回のリニューアルでは、ユーザーの目的に合わせて知りたい情報にスムーズにアクセスできるよう、見やすさや使いやすさに重きを置いたデザインとするほか、GKPの活動をプロジェクト別に紹介し、活動の見える化を図ります。さらには、GKPの主力プロジェクトであるマンホールカードの特設ページを設け、これまでに発行されているマンホールカードを県別に一覧表示できるよう検索システムを設けます。

バージョンアップしたGKPホームページは7月に公開予定。リニューアル後のGKPホームページを楽しみにしてください。



お知らせ

下水道のPR動画を制作しました ～2018ミス日本「水の天使」浦底里沙さん出演～

下水道広報プラットフォーム(GKP)は、「21世紀の下水道を考える会」協議会と共に、国民の下水道への理解と関心を高めていただくことを目的に、下水道のPR動画を制作しました。

動画には、2018ミス日本「水の天使」浦底里沙さんが出演しており、下水道が汚れた水を綺麗にして自然に戻してくれていることに改めて気付かされた浦底さんが、下水道への感謝の気持ちを優しく伝えています。

本動画は、YouTubeで公開されているほか、下水道関係者の皆様には様々なイベント等でご利用いただけるよう、自由に使用いただけます。動画の使用に関するお問い合わせは、下水道広報プラットフォーム(GKP)事務局までご連絡ください。

動画の公開場所(YouTube):

<https://www.youtube.com/watch?v=twWozzWycOk>



イベント

インターンシップ&キャリアセミナーin九州

GKP未来会では、7月24日(火)から4日間、北九州市で開催する下水道展のうち、最終日である27日(金)に開催する特別企画「インターンシップ&キャリアセミナーin九州」とコラボし、「特別講演」および「体験型!ワークショップ」を開催します。

特別講演では、国土交通省下水道部より「日本の下水道の現状と展望について」語っていただくほか、開催地の北九州市からも「北九州市の下水道事業(仮)」をテーマに講演いただきます。

また、「体験型!ワークショップ」では実際に下水道業界で働く未来会メンバーが学生の皆様が気になる話題について、フリートークでお話しします。

そのほかにも、未来会メンバーが学生に下水道展ブースをご案内する等、盛り沢山の企画となっています。

水ビジネスに興味のある学生の皆様の御参加をお待ちしています!

詳しい情報はこちら:<https://seminar-entry.jp>



こんにちは、下水道企画課管理企画指導室・地域支援係長の石崎です。下水道部内では、「マッチョ」の愛称で呼ばれており、最近本名で呼ばれることが少なくなりました。住まいは江戸川区で、部内の一部GJからは「小岩のジャスティン」(※ジャスティンビーバー)とも呼ばれております。座右の銘は、「筋肉が一番のオシャレ」です。

ご想像のとおり、趣味は貯金と筋トレでして、財布のヒモと筋肉は固いほうがいいですね。いつかマンホール蓋がプレートのパベルかダンベルを作りたいと思っております。しかし、40歳を目前にした今、筋肉の老朽化が深刻な課題であり、長寿命化対策と筋肉の見える化が必要です。

一方、特技はモノマネでして、近藤真彦、小林旭、沢田研二が得意です。7歳年上の妻から教えてもらいました。ちなみに、部内には7歳以上年上の奥様をもつ方が複数いらっしゃいました。Gボーイたちは年上の女性と結婚するケースが多いようでして、年上の女性の魅力についてよく語り合ったものです。

今年度の主要課題は、年の差婚ガイドラインと年上の女性の魅力を取りまとめた事例集を作成し、全国の独身のGボーイたちに水平展開することです。

まずは前号登場された年下好きの見正係長(先週大胆に散髪され、ジャニーズ系からエグザイル系にイメチェン)に周知徹底を図りたいと思います。



vol.13

GJ Column

vol.15

GJ Columnでは
毎号皆さんに役立つちょっとした小ネタを紹介していきます。
時間のある時に読んでみてください。
皆さんの生活に下水道が少しでも近づいた気分になるかもしれません。

全国ご当地マンホール
よろずマンホール



vol.15

南相馬市(福島県)のマンホール

南相馬市のマンホール蓋は、旧小高町に伝わる伝説「大悲山大蛇物語」に登場する大悲山の大蛇と琵琶法師がデザインされています。

小高町(旧小高郷)を水没させようと企む大蛇から、自らの命を犠牲にし、小高町と村人を救った盲目の琵琶法師玉都。この伝説は、現在もなお語り継がれているようです。水没から町を救った玉都と、町を浸水から守る下水道。通するものがありますね。

市内唯一のカラー蓋は、JR小高駅前設置されています。設置されて間もないため、とても綺麗でした。



下水道に優しい生活 vol.15

大雨が降ると下水道はどうなる???

合流式下水道は、私たちが家庭で使って汚れた水(汚水)と、雨水を一緒の下水道管に流すしくみのこと。

梅雨の影響で降水量が多くなる6月や、台風シーズンの9月。弱い雨の時は、合流式下水道を流れる汚水と雨水は下水処理場に集められますが、強い雨の時は下水処理場やポンプ場の処理能力以上の下水が流れてくるため、下水が未処理のまま川や海に流れて行く場合もあります。

現在では、雨天時の未処理下水の放流を抑制するため様々な対策が講じられていますが、大雨の時に洗濯やお風呂掃除等を控えてあげると、下水道が喜ぶかもしれません。



下水道女子がおすすめする

今月の一冊



これはしない、あれはする

小林照子(著)

82歳になった現在でも現役で活躍されている美容研究家の著者が、自らの人生を振り返りつつ、「しないほうがいいこと」と、「したほうがいいこと」を綴った本。

年齢を重ねていくうちに、夢や憧れに胸を焦がす時期は過ぎ去ってしまったと思っていたが、人はいくつになっても新しい人生を始められる、未来はまだいくらでも変えられる、と前向きにさせてくれた本。

口に出してはいけないのは、「いまさら」。口にしたいのは「今から」。踏いた時に何度でも読み返したいと思った本です。(Y.Y)。

サンマーク出版(2017/12/27)



見つけちゃった!
下水道あんなニュース
こんなニュース vol.14

あれ?

スイスイがこんなところに!

土木工事現場でみかける工事看板。工事看板は、道路を利用する市民に対し、何の工事が、何のための工事が、いつ工事が終わるのかを分かりやすく周知し、道路工事に対する理解を促進させる役割を担います。町で見かける工事看板は文字だけ記載しているものがほとんどですが、下水道工事の看板に、下水道のマスコットキャラクター「スイスイ」が描かれた

看板が!

さらにびっくりなのが、その工事現場で働く皆様が着用している反射チョッキにも「スイスイ」が描かれており、道路を利用する市民にとっても親しみやすいデザインに。下水道のマスコットキャラクター「スイスイ」も、下水道の工事現場で働く皆様と一緒にいられて幸せそう。



予告

平成30年1月10日より、下水道工事のため8時17時までの間、交通規制(片側交互通行)を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願い致します。



GJのつぶやき

日常の業務の中で、大変だったことや嬉しかったこと、提案したいことなどをつぶやき形式で紹介します。
第16号は、東北GJからのつぶやきです。

GJ！自治体、関係業者だけではなく、一般の人にも広めたい！
(T.S)

マンホールカード、7種類集まりました！(T.S)

ワークショップに参加して

色々見たり聞いたり話したりで刺激をもらえた。(N.O)

下水道の「あるある話」が出来て、楽しかったです。(Y.A)

マンホールふき上げ実験がとても勉強になりました。
楽しかったです。(Y.F)

次号 予告

次号は下水道展特集です！
(7月発刊)

編集後記

- 初めての現場視察でしたので、全てが新鮮で感動の連続でした(加藤 桂子)。
- 土留工の施工現場から構築が完了した現場まで、普段なかなか見ることの出来ない部分を見学させて頂き勉強になりました(児玉 ひと美)。
- ポンプ場の建設現場自体が初めてだったため、まずポンプ場がどういう役割を担っているのかがハッキリしていなかったので、今回の現場視察は勉強になりました。特に市の決まり事によって現場で色々な取り組みがされている点について、市が違うだけで取り組み方も違って来るのかと、大変印象深かったです(小川 瑛子)。
- 建設生産のプロセスと、様々な施工状況を見学でき、仕事に対する理解度が深まりました(加藤 由子)。



加藤 桂子



児玉 ひと美



小川 瑛子



加藤 由子

GJ Journal Vol.16 東北特集

平成30年6月発行

発行：下水道広報プラットフォーム(GKP)

編集：東北特集編集委員

加藤 桂子(株式会社NJS)

児玉 ひと美(佐藤工業)

小川 瑛子(佐藤工業)

加藤 由子(株式会社日新技術コンサルタント)

GJリンク事務局

下水道広報プラットフォーム(GKP)事務局

(公社)日本下水道協会広報課

監修：金子 昭人(日本下水道事業団東北総合事務所)

渡部 優(日本下水道事業団東北総合事務所)

デザイン：株式会社紙藤原

※「私の下水道」、「地域別特集」および「編集委員」に記載されている所属は平成30年5月末時点の所属です。

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同僚がいない、ロールモデルとなる先輩女性がない等の悩みをもつことも多いようです。

そこで下水道広報プラットフォーム(GKP)内に女性同士の繋がりを支援する場として「下水道分野で働く女性の会(愛称：GJリンク)」が設置され、国土交通省下水道部職員も本会の設置趣旨を踏まえアドバイザーとして参画しています。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始まっています。

GJリンク事務局

日本下水道協会内

GKP事務局(広報課)内

TEL:03-6206-0205

URL: <http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>



GJ Link

GJML会員は、随時募集中！
詳しくは、GJリンクHPまで

<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>

GJリンク

検索